

大阪大学フェローシップ「量子リーダー人材」(QLEAR フェローシップ)  
令和3年度(2021年度)2次募集 募集要項

### 1. 概要

本事業は、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」の一環として、研究に対する意欲を有し、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる博士後期課程進学者に対し、研究専念支援金と研究費の支給と、博士後期課程修了後に安定的で研究に専念できる環境を提供できるポスト確保に取り組むものです。本事業では大阪大学で推進されている最先端量子研究に携わる多くの博士後期課程学生を幅広く支援の対象とします。支給対象学生に一層研究に集中して世界トップレベルの研究成果が達成できる研究環境を与えるとともに企業や関連研究機関との共同研究を通じて、研究力向上とキャリアパスの確保につなげます。

### 2. 目標

本フェローシップの活動を通じて、「量子」の高い専門性と産学連携の精神を備え、将来、社会の様々な分野において、量子の研究とその成果の社会実装でイノベーションを牽引する量子リーダー人材を育成します。

### 3. 活動

本フェローシップの研究専念支援金受給生(以降、QLEAR フェローシップ生)は以下の活動に参加していただきます。

- ① 研究インターンシップ(3か月程度)：企業・関係研究機関との共同研究をQLEAR フェローシップ生自らが主導して行い研究力向上を図ります。ただし期間は状況と諸事情を鑑み、柔軟に調整いたします。
- ② 量子基礎講座(年15回開講予定)：大阪大学と国内外の著名な研究者による量子分野の俯瞰講義を聴講していただきます。
- ③ 研究者交流会(年1回開催)：成果報告を行い外部関係者との交流を深めていただきます。
- ④ 企業・研究機関訪問(年2回開催予定)：企業・研究機関を訪問して、QLEAR フェローシップ生はキャリアパスの具体的なイメージを掴み、相手側とマッチングを行います。
- ⑤ メンターとの面談(4か月に1回開催予定)：学内あるいは企業や研究機関の研究者がメンターを務め、QLEAR フェローシップ生と定期的に面談と研究進捗報告を行います。
- ⑥ 海外共同研究支援：毎年、選考により1～2名の提案を採択して海外の量子技術研究拠点とQLEAR フェローシップ生の共同研究を支援します(50万円程度)。なお、令和3年度の募集は終了しました。

ただし、博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム、理工情報系オナー大学院プログラムの履修生は、上記プログラムの実施について採用後相談します。

### 4. 求める人材像

大学院課程では量子の最先端研究に主体的に取り組み、本事業を通じて量子リーダー人材として研鑽を積むことと、大学院課程終了後も量子に関連する業務や研究活動に従事し、将来、量子技術イノベーションを通じて社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を募集します。

### 5. 採用予定数

1名

### 6. 申請資格

「3.活動」の事項①～⑤に必ず参加することを申請条件とし、本フェローシップに申請できる者は、次に掲げる事項をすべて満たす者としします。

- (1) 下表の本学大学院博士課程(後期課程)の研究科・専攻に2021年4月に入学した者又は2020年10月に入学した者で、2021年4月1日時点で第1年次の者※1

※1 医学系研究科の4年制博士課程にあつては、2021年4月1日時点で第2年次の者

- (2) 2021年4月1日時点で満30歳未満(臨床研修を課せられた医学系分野に在籍した者においては満33歳未満)の者

課程種別	研究科・専攻
博士後期課程	理学研究科（数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物科学専攻、高分子科学専攻、宇宙地球科学専攻） 医学系研究科（保健学専攻） 工学研究科（生物工学専攻、応用化学専攻、物理学系専攻、機械工学専攻、マテリアル生産科学専攻、環境エネルギー工学専攻、電気電子情報通信工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻） 基礎工学研究科（物質創成専攻、システム創成専攻、機能創成専攻） 情報科学研究科（情報システム工学専攻、コンピューターサイエンス専攻、情報ネットワーク学専攻）
4年制博士課程 ※1	医学系研究科（医学専攻）

注) 上記研究科・専攻に所属する博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム、理工情報系オナー大学院プログラムの履修生も申請できます。

ただし、2021年10月1日時点で、次に掲げる者は申請資格に該当しません。なお、採用期間開始日までに以下に掲げる奨学金等の受給を終了する場合は申請可能です。 ※5

- ① 社会人 ※2
  - ② 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員
  - ③ 独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金（※3、※4）を受給している者
  - ④ 留学生として外国の政府等からの奨学金を受給している者
  - ⑤ 国費外国人留学生として日本政府（文部科学省）奨学金を受給している者
  - ⑥ 本学が実施する奨学金等（卓越大学院プログラム、博士課程教育リーディングプログラム、理工情報系オナー大学院プログラム等）を受給している者。
- ただし、授業料を援助するためのものについては、この限りではありません。

※2 「社会人」とは、①職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経済的な収入を得る仕事に現に就いている者）、②給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事から既に退職した者、③主婦・主夫を指します。ただし、③については、生活の実態により、社会人とはみなさず、申請資格を認める場合があります。

※3 文部科学省外国人留学生学習奨励費を含む。

※4 同機構の貸与型奨学金については受給資格に影響しません。

※5 現時点で受給（内定含む）している奨学金等を辞退し本フェローシップを申請しようとする者は、併給可否に関わらず、申請前の段階で必ず上記奨学金等担当窓口申請可否の確認を行ってください。大学推薦奨学金の場合、留学生は所属研究科、留学生以外は学生センターが窓口です。

## 7. 採用期間

2021年10月1日から2年6ヶ月間（30カ月間）

※上記期間中に退学、除籍となった場合、その時点までの期間とします。また、2021年3月31日時点で大学院の博士（後期）課程に在籍している者の採用期間は2年間とします。

## 8. 支援内容

本フェローシップの採用者には、採用期間中、申請書・計画書に記載の研究テーマへの取組みに専念できるよう、研究専念支援金（生活費相当）及び研究テーマに関する活動を行うための研究費が交付されます。

2021年度の支給予定額は以下のとおりです。（2022年度以降の予算については未確定）

- (1) 研究専念支援金：月額15万円

（ただし、複数月分をまとめて支給することがあります。）

（研究専念支援金は課税所得の対象となります。下記13. 参照）

(2) 研究費：年額 70万円

(採用者が所属している部局に研究費相当分の予算を配分して使用します。)

## 9. 申請手続

「6. 申請資格」に該当する者で、フェローシップの申請を希望するものは、下記の要領で申請手続を行ってください。

- ・申請方法・・・ 郵送
- ・申請書受付期間・・・ **2021年8月23日(月)～2021年8月27日(金)**
- ・申請書類・・・ 「10. 申請に要する書類等」にある①～⑦の書類  
⑧推薦書 兼 承諾書は推薦者が以下の宛先へ郵送（又は学内便）で送付してください。

・送付方法

### 【郵送の方法】

宛先 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-2

大阪大学 文理融合型研究棟604

QLEAR 支援室

角形2号(縦33 cm×横24 cm程度)の封筒を使用し、必ず「特定記録」郵便で送付してください。

(2021年8月27日(金)以前の発信局(日本国内)消印のあるものに限る、期限後に到着した場合でも受理します。)

注)

- ・申請には所定の様式を使用すること。変更は認められません。
- ・申請書類の提出後、その記載事項を変更し、又は補充することは認められません。
- ・申請は1人1件とすること。他の大阪大学フェローシップ創成事業との併願等、重複申請は認められません。
- ・受験票は、申請手続後、受験番号を記載し、受験票送付用封筒で申請者へ郵送します。
- ・申請書類に不備のある場合は受理できません。

## 10. 申請に要する書類等

本フェローシップへの申請を行う場合は、以下の書類を提出してください。

申請に要する様式は大阪大学量子情報・量子生命研究センターの本プログラムホームページからダウンロードできます。

(URL: <https://qiqb.osaka-u.ac.jp/qlear/>)

	書類	内容・留意事項等
①	出願願書(様式1)	所定の様式に記入してください。
②	出願理由書(様式2)	所定の様式に注釈の指示に従い記入してください。
③	研究計画書(様式3)	所定の様式に注釈の指示に従い記入してください。
④	大学院の成績証明書	①令和3年4月時点で博士後期課程学生1年次に在籍している者は、博士前期課程修了時の成績証明書 ②令和3年4月時点で医学系研究科(医学専攻)の2年次に在籍している者は、1年次の時の成績証明書
⑤	英語力検定試験認定書の写し	様式1に点数記載の場合のみ
⑥	受験票・写真票(様式4)	3ヵ月以内に撮影した写真を貼付
⑦	受験票送付用封筒	長形3号の封筒に宛先を明記の上、94円分の切手を添付したもの
⑧	推薦書 兼 承諾書(様式5)	推薦者がQLEAR支援室へ直接送付

## 11. 選抜審査について

本フェローシップの選抜審査は、書類審査及び面接審査により行います。

### ・審査等のプロセス

プロセス	期日	時刻等	場所等
申請受付	8月23日(月) ～ 8月27日(金)		QLEAR 支援室 (郵送)
書類審査合格発表	9月10日(金)	14:00	本プログラムホームページ
選抜試験(面接審査)	9月17日(金) (予定)	別途連絡	別途連絡
最終合格(採用内定者)発表	9月21日(火)	14:00	本プログラムホームページ

### ・審査方針

書類選考は、出願願書、研究計画書、推薦書、成績証明書により実施します。

### ・選抜についての注意事項

面接試験(プレゼンテーション含む)は、書類審査合格者の中の対象者のみに対して実施します。試験会場等の詳細は、本プログラムホームページで発表します。

### ・合格発表

最終合格者の発表は、2021年9月21日(火)14:00に本フェローシップのホームページ(<https://qiqb.otri.osaka-u.ac.jp/qlear/>)において、合格者の受験番号を掲載するとともに、願書記載のメールアドレスへ送ります。電話やmail等による合否の問合せ及び審査に関する個別の問合せには応じません。

## 12. 採用内定後の手続き

本フェローシップの選抜審査に合格した場合は、誓約書(所定の受給要件の確認等)の提出等、フェローシップの支給のための手続きを速やかに行う必要があります。詳細は、採用内定後に別途案内します。

## 13. 採用後についての注意

本フェローシップの採用者は、次のような義務があります。

- (1) 誓約書を提出すること。※採用期間中は毎年度行います。
- (2) 研究専念支援金は課税所得(雑所得)と扱われ課税の対象となります。各自で税の申告・納税を行う必要があります。
- (3) 研究費については、大学の管理下で適切に使用すること。
- (4) 研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- (5) 研究インターンシップに参加すること。
- (6) 量子基礎講座を聴講すること。
- (7) 研究者交流会で成果発表を行うこと。
- (8) 企業・研究機関訪問に参加すること。
- (9) メンターとの定期的な面談を行うこと。
- (10) フェローシップ受給期間2年目に中間発表を、3年目に最終発表を行うこと。

14. 個人情報の取扱いについて

- (1) 申請書に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「フェローシップ生選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格発表」、「採用手続」等の業務及び本フェローシップに関する業務を行うために利用します。また、所属研究科及び本学が実施する教育プログラム実施担当部署、奨学金関連担当部署等学内での活動に関する必要な情報として依頼があった場合は、申請情報及び合格・採用情報等の情報を提供します。
- (2) フェローシップ生選抜に用いた試験成績等の個人情報は、選抜結果の集計・分析及びフェローシップ生選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 採用された場合は、氏名などが本フェローシップのホームページ等で公表されます。
- (4) 上記(1)～(3)の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部又は一部を提供します。

15. 注意事項

- (1) 身体に障がい等がある者で、受験に際して特別な配慮を希望する場合は、原則として出願までにQLEAR 支援室へ問い合わせてください。
- (2) フェローシップ終了者に関するキャリアパス等の追跡調査のための協力依頼をさせていただくことがあります。
- (3) 本フェローシップでは「大阪大学男女協働推進宣言」に基づき、意欲のある女子学生の積極的な応募を歓迎します。  
<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/president-message/>
- (4) 提出された書類は返却しません。
- (5) 申請書類に虚偽が発見された場合は、採用後であっても採用を取り消すことがあります。

【各種問い合わせ先】

大阪大学 QLEAR 支援室

TEL : 06-6850-6494

E-mail: qlearoffice@qiqb.osaka-u.ac.jp